

関西支部 第452回航空懇談会

日時：平成27年7月17日（金）15：00～17：00

会場：京都大学 大学院 工学研究科 航空宇宙工学専攻 講義室1（b1N01）

〒615-8540 京都市西京区京都大学桂 C3棟

交通アクセス下記URLまたは次ページをご覧ください。

<http://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/access/katsura>

* できる限り公共交通機関をご利用下さい。

講演：

1. 「これからの航空機産業について」

三菱重工業株式会社 特別顧問（三菱航空機株式会社 前社長） 川井 昭陽 氏

概要：従来、日本の航空機産業は、防衛省機の生産および海外メーカーへの下請け事業が中心となっており、比較的売上高も小さい産業であった。近年、MRJの開発が進むにつれて、航空機産業に対し世間の注目度が増加してきている。それに従い、将来の日本の産業の一部として、航空機産業を発展させようという機運が増大してきている。今後の民間航空機産業の発展に必要と考えられる現状の把握と、将来の発展方向について、民間航空機の開発に携わってきた経験からの提言をまとめる。

2. 「宇宙由来危機への対応 ～宇宙工学と宇宙政策の世界～」

京都大学 生存圏研究所 教授 山川 宏 氏

概要：宇宙由来の危機への対応が喫緊の課題となっており、そのための宇宙環境の理解と宇宙状況の認識の重要性が増している。代表的な課題として、宇宙ごみ（スペースデブリ）、地球接近小惑星、太陽フレア等がある。本講演では、宇宙工学の観点からは、京都大学生存圏研究所で行っているいくつかの研究について紹介する。レーダを用いたデブリ観測や、デブリの低減手法、小惑星の地球衝突への対応に関する基礎的な研究について紹介する。また、宇宙政策の観点からは、政府の宇宙政策の近年の動向の概要を述べたうえで、2015年1月に政府が公表した新「宇宙基本計画」における安全保障分野、民生利用分野、宇宙産業・科学技術基盤分野の方向性について概括する。宇宙由来危機との関連性についても述べる。

参加費：無料 *参加は会員に限りません。周りの方や学生の皆様にもお伝えください。

問合せ先：〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1-1

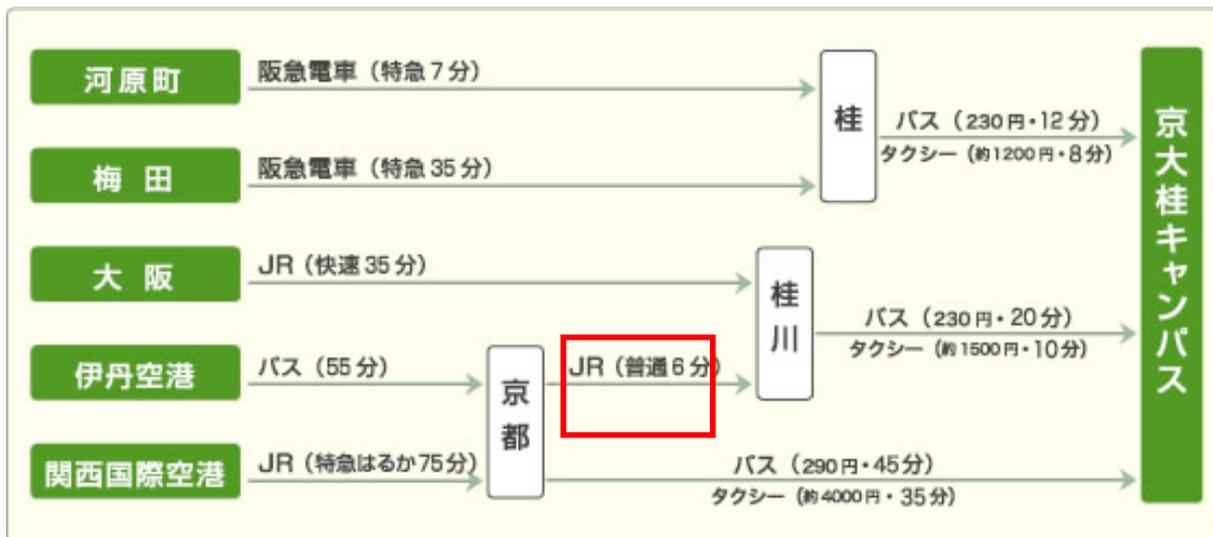
大阪府立大学 工学研究科 航空宇宙工学分野内

日本航空宇宙学会関西支部 <http://kansai.jsass.or.jp/>

TEL：072-254-9240

E-mail：jsass_kansai2015@aero.osakafu-u.ac.jp (村上)

交通アクセス



京都大学 工学部・大学院 工学研究科
 桂キャンパス (〒615-8530 京都市西京区京都大学桂)



引用元:「京都大学工学部・大学院工学研究科」(<http://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/access/katsura>)